[illegible]所の罷工騒ぎが再發した[illegible]代の一大不祥事である、吾[illegible]は此場合に於て是非の何れにあ[illegible]を論斷せんとするもので無い[illegible]少くとも、白仁長官の不誠意[illegible]を聞くに至つては、矢張り[illegible]の全部が長官其人にありと認[illegible]て、三軍の師[illegible]ふべく[illegible]、四夫四婦の心の奪ふべから[illegible]ざるは昔よりの通相場である、[illegible]

立の生計」云[illegible]に對しては同意せざるも、年[illegible]表其他の條件に付ては凡て同意なり

原則變更

△林毅陸氏 憲政會の只今の修正を見て一二質さんに、先日來の說明に[illegible]れば、選擧權は財產の有無に[illegible]せず、獨立の生計を營むに於[illegible]は差支へなしと云ふにあり[illegible]只今の修正にて

生業とは

△藤澤氏 生業と云ふは戶主又は父兄と共に、一定の職業に從事するを意味す

△鳩山一郎氏 第五項に該當するものは、第六項に該當せざるも、選擧權を有するや

△藤澤氏 爾かく解すべき也

除を主張して止まざるより憲政會幹部は昨夜急遽議員總會を召集して第六項の削除に就き協議し、尾崎島田氏等二十餘名は、此の際第六項全部を

削除し

て國民黨の主張を容れ、大同に就くべしと高唱したるも、幹部派は之に反對して飽く迄黨議尊重を主張し、遂に二十九對四十一の多數を以て第六項存

過般來部[illegible]式市場は[illegible]各會社[illegible]くは其の[illegible]場の[illegible]的とな[illegible]

八幡の職工代表と農相の會見

昨日貴族院で常になく打解けた一時間の長談議

必ず滿足させるといふ

言質取つて辭去す

過般來の八幡製鐵所問題に就き上仁長官の上京と共に篤と相談して[illegible]中なりし職工代表委員勞友會の[illegible]原鐵三郎、[illegible]晉松、工藤勇雄、[illegible]び幹事本多眞夫の諸氏は

友愛會

の鈴木會長、木村鋭吉、藤田俊次郎氏等と共に十六日午後二時貴族院に山本農相を訪問し農相は四條工務局長を從へて院內談室に面會した、先づ鈴木氏は職工側の要求箇條を說明し木村氏は八幡に於ける怠業の實狀を述べ淺原氏は職工の生活困憊狀態を具さに說明せるに農相は常になく打ち解けて『製鐵所の事は

長官に

全部一任してあるので長官を差し置いて自分から[illegible]する事は誠に困る、併し諸君の說明は十分了解したから近く白

諸君に滿足を與へるやう適宜の處置を執る事にする、自分としては考へを述べれば時間問題は華府勞働會議に依つても九時間半と云ふ事になつて居るし又長官の權限內で怎うにかなるとも思はれるも又次に

給料の

件も豫算を計上してあり萬一夫れが否決となつても最後の手段として大臣の責任支出が出來ない事もない』と說明したので委員一同稍滿足の體で一時間十分の長談議の後辭去して友愛會本部に引上げ今後の運動方法について協議を行つた

八幡へ急電

友愛會本部に引揚げた一同は鳩首協議の末農相の回答顚末を至急八幡に打電

製鐵所の委員

農相と上院に會見

十六日午後一時四十分頃八幡製鐵所上京委員である日本勞友會淺原鐵三郎工藤勇雄鐵夫協會本田眞夫氏外四名は友愛會長鈴木文治氏と同道して貴族院に山本農相を訪問し目下大臣室に於て大臣と會見中である（午時二時）